



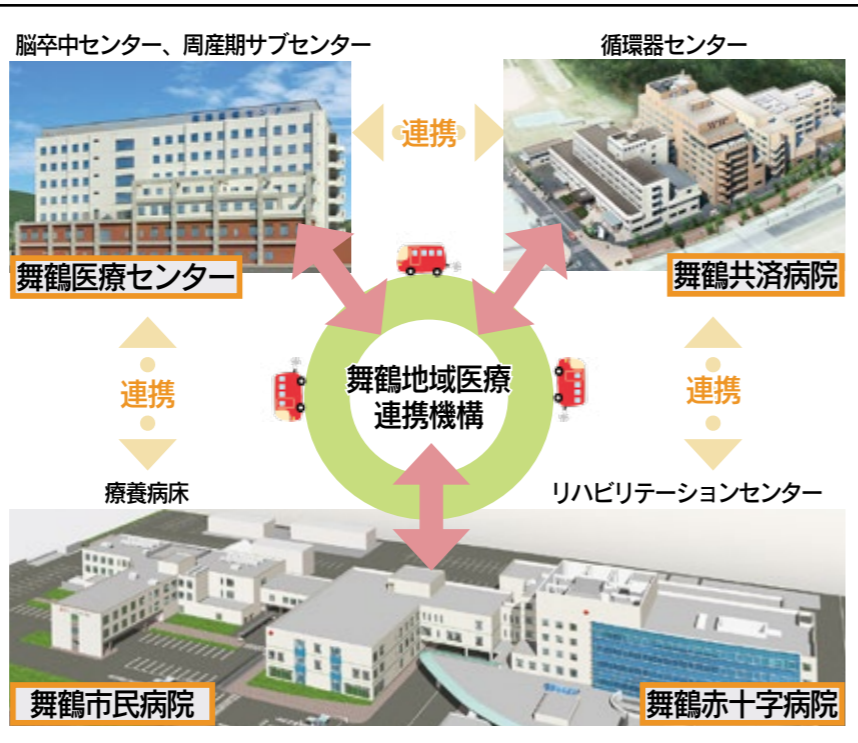
【写真1】昨年度はクルーズ客船が過去最高の15回入港



【写真2】1,770人のランナーが赤れんがのまちを疾走(左、昨年10月13日撮影)。ユネスコ世界記憶遺産登録への取り組みと、平和へのメッセージを発信(右)



【図3】物流・都市間交流を支える高速道路ネットワーク



【図1】公的4病院があたかも一つの総合病院として機能連携



【図2】「豊かな遊びを通じた学び、育ち、交流」をコンセプトにした全天候型「子育て交流施設」

# シリーズ市政の「今」第16回 未来に向けたさらなる挑戦

舞鶴市総合計画「前期実行計画」の実績と「後期実行計画」の策定に向けて

市では、これまで「住んでよし」、「働いてよし」、「訪れてよし」の『選ばれるまちづくり』を政策目標に掲げ、その目標達成に向けさまざまな施策・事業を展開してきました。未来への大きな夢・ビジョンの達成に向けた取り組みを進める一方で、少子高齢化や人口の減少、若者の市外への流出などの課題も依然として残っています。これらの課題を解決していくためには、市民の皆さんにこのまちの良さを再認識していただき、皆さんがまちに誇りを持ち、子どもや若者が「地元に残りたい」と思えるまちを創造する必要があります。シリーズ市政の「今」。第16回は、舞鶴市総合計画に基づいたこれまでの取り組みを振り返り、後期実行計画策定に向けた今後の方向性についてお知らせします。

## 新たな舞鶴市総合計画 前期実行計画の取り組み

市では、平成23年8月から「東アジアに躍動する国際港湾・交流都市 舞鶴」を都市像に掲げる「新たな舞鶴市総合計画の基本構想(平成23(30年度)および前期実行計画(平成23(26年度))」をスタート。「子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまち・舞鶴」の実現を基本目標に、①「安心のまちづくり」、②「活力あるまちづくり」、③「市民に役立つ市役所づくり」の3つの重点事項を積極的に推進してきました。

### ①安心のまちづくり

地域医療の充実については、新たな中丹地域医療再生計画に基づく(一財)舞鶴地域医療連携機構の設立や公的医療機関の機能・連携強化など医療環境の整備が着実に進展(図1)。また、自然災害などによる危機事象への対応力を強化し、高潮対策や河川の治水対策など災害に強い都市基盤づくりを進めてきました。

### ②活力あるまちづくり

舞鶴若狭自動車道の開通など高速道路の環状ネットワーク化(図3)や海フェスタ京都を府北部5市2町で開催、クルーズ客船の相次ぐ寄港(写真1)など、京都舞鶴港の活用による物流機能の充実と海を活かした観光振興を国・府との連携のもと促進。また、「赤れんがパーク」を拠点に、まちなぎわい創出や赤れんがハーフマラソンを実施(写真2)。これら「舞鶴ファン」を増やす取り組みにより、本市を訪れる交流人口は着実に増加し、地域経済へ大きな波及効果をもたらしました(図4)。

また、史実の継承と平和の尊さを語り継ぐ舞鶴引揚記念館の収蔵資料がユネスコ世界記憶遺産の国内候補に選定され(写真2)、本登録への期待が寄せられています。

その他、企業誘致による雇用促進や産業の創出・拡大により新たな雇用の機会が生ま

れるなど、地域経済のさらなる活性化が図られました(図5)。

### ③市民に役立つ市役所づくり

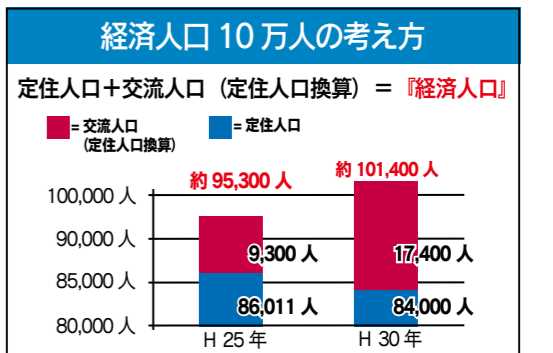
公共施設の再生にあたり、目標や方向付け、取り組みの優先度などを明らかにした「公共施設再生基本計画」を策定。長寿命化や多機能・複合化など将来にわたって持続可能な施設の運営と、質・サービス・利便性の向上を図っていきます。

また、市民の皆さんとの議論を市政に反映する政策評価会などの取り組みのほか、公平・公正な市民負担を確保するため、新たに債権管理課を設置。市民とともに歩む信頼できる市政の実現に取り組んできました。

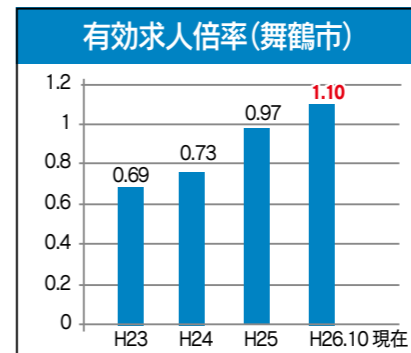
## 新たな舞鶴市総合計画 「後期実行計画」の策定

高速道路網の完成、京都舞鶴港の機能強化などにより「人流」「物流」が劇的に変化し、かつてないチャンスが到来する平成27年度。

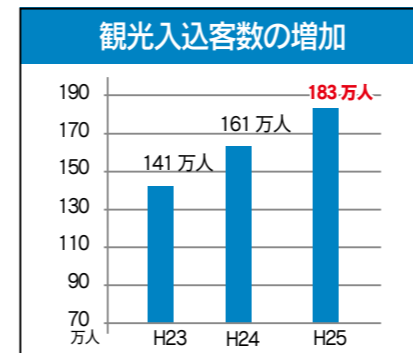
この最大の好機を活かすため、「まちづくりの将来像」を地域全体で共有し、広くふる



【図6】



【図5】



【図4】

さと舞鶴に魅力と可能性を感じてもらおう新たな目標「後期実行計画(平成27(30年度))」を策定します。

## 新たな数値目標「交流人口300万人、経済人口10万人」

「経済人口10万人」という目標は、全国的に人口減少が大きな課題となる中で、現在の定住人口8万6千人の減少を抑制・維持し、その上で交流人口の増加によって生み出される経済効果を加え、まちの活力を維持・向上させようとするためのものです(図6)。

## 新たな重点項目 「心豊かに暮らせるまちづくり」

後期実行計画では、今後のまちづくりの方針として、豊かな自然の中で心豊かに暮らすために必要な子育て、教育、医療・福祉、防災、文化、芸術、スポーツなどをさらに充実。そして雇用、産業、観光などの推進による定住人口の減少抑制、交流人口の拡大で、未来に向けて夢と希望あふれる「心豊かに暮らせるまち」舞鶴地方創生の実現に取り組んでいきます。